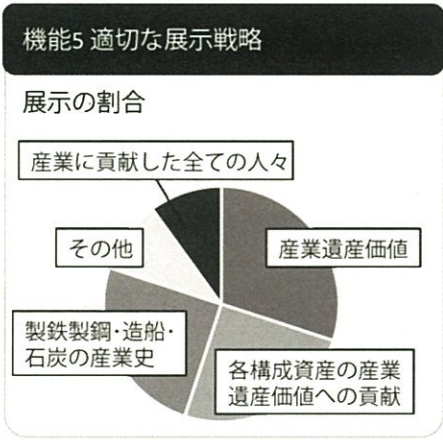


# 産業遺産情報センターの機能・必要面積について（案）

## インフォメーションセンターとしての必要機能

- 機能1 情報発信**  
シンクタンクの機能
  - 23構成資産の群としての世界遺産価値をPR
  - 歴史全体について理解できる説明
- 機能2 調査研究**
  - 産業史
  - 産業遺産
  - 産業に貢献した人々
- 機能3 資産の保安全管理指導**
  - 保安全管理の支援
- 機能4 教育・研修**
  - 政府・自治体・メディア・NGO等の研修プログラム実施  
(eラーニングは機能6と連動)



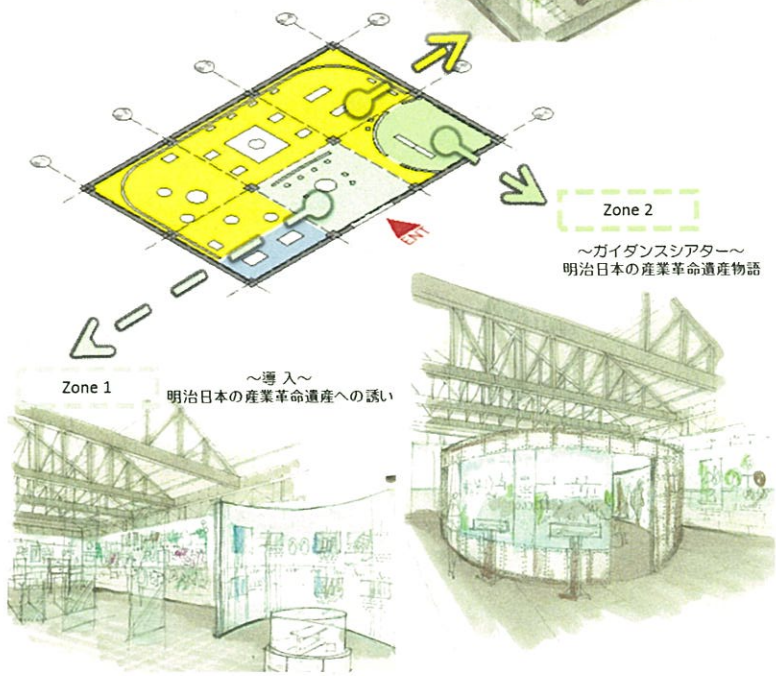
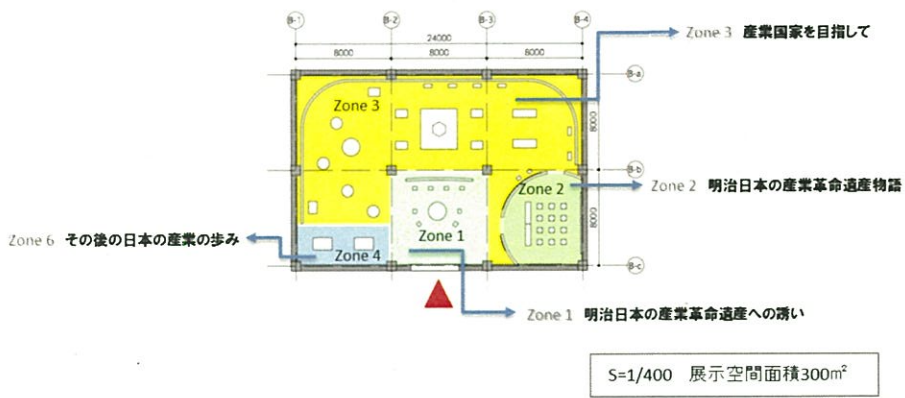
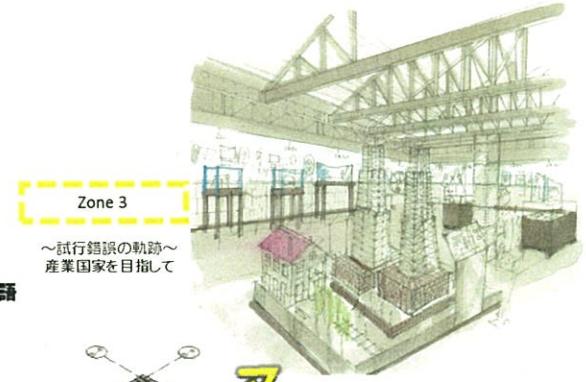
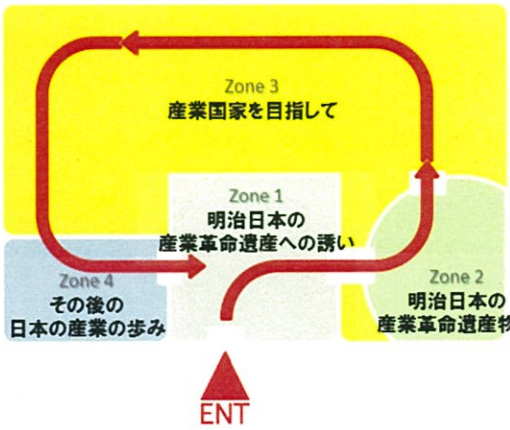
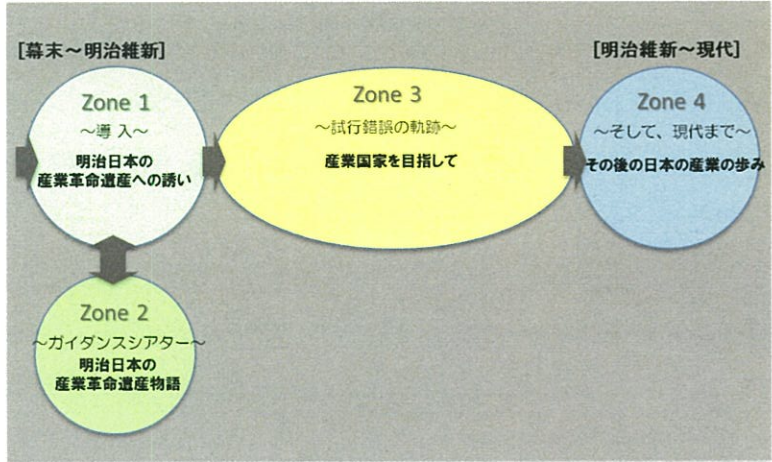
- 機能6 展示技術の開発と指導**
  - デジタル文書化の推進
- 機能7 各センターとの連携と地方創生**
  - 中核のインフォメーションセンターを基軸に8県11市のビジターセンター等と連携
  - 世界遺産ルートと共に地方創生の観点から総合的な展示戦略を準備

展示手法のパターン	概要	想定展示面積
A 新設	本展示を設置するため、新たに建築物を建造し、本展示専用の展示施設とする場合。	1,500㎡程度
B 既存施設の一部を活用(大)	既存施設の一部を活用して展示を行う。室単位の活用等、比較的規模が大きい場合。	500㎡程度
C 既存施設の一部を活用(小)	既存施設の一部を活用して展示を行う。エントランスや展示室の一角を活用するなど、比較的規模が小さい場合。	60㎡程度
D Webで展開	展示施設を設けず、Webを活用して、情報発信を行う場合。	—



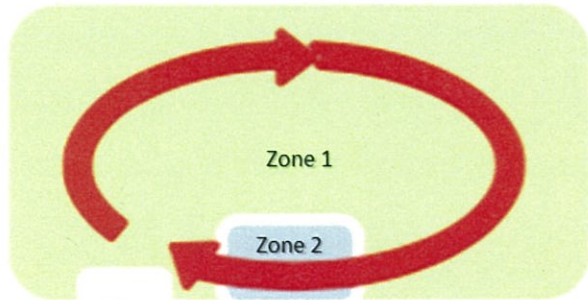
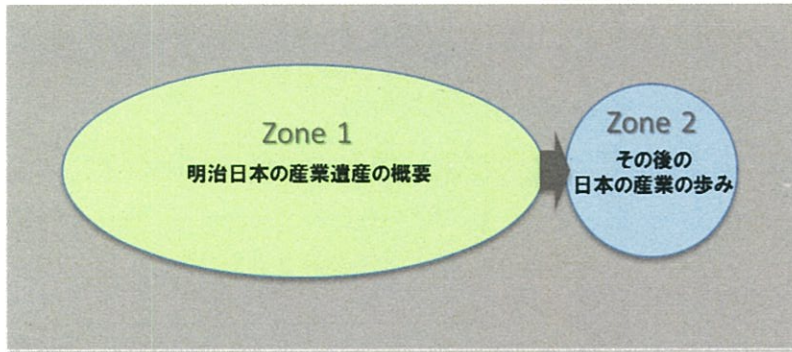


# パターンB（既存施設：500m<sup>2</sup>規模）



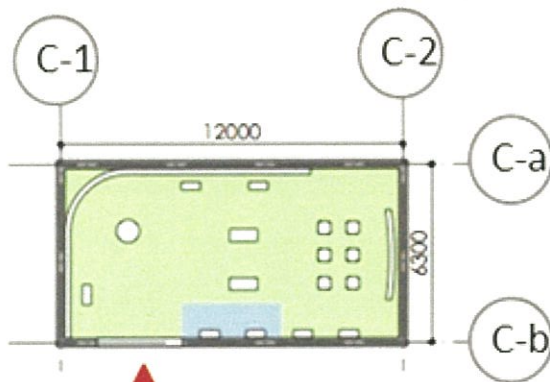


# パターンC (既存施設: 60m<sup>2</sup>規模)

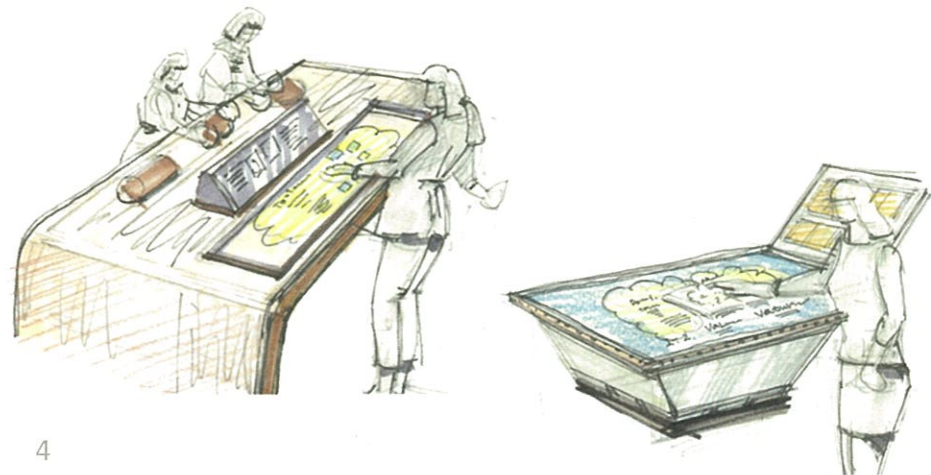


イメージゾーニング

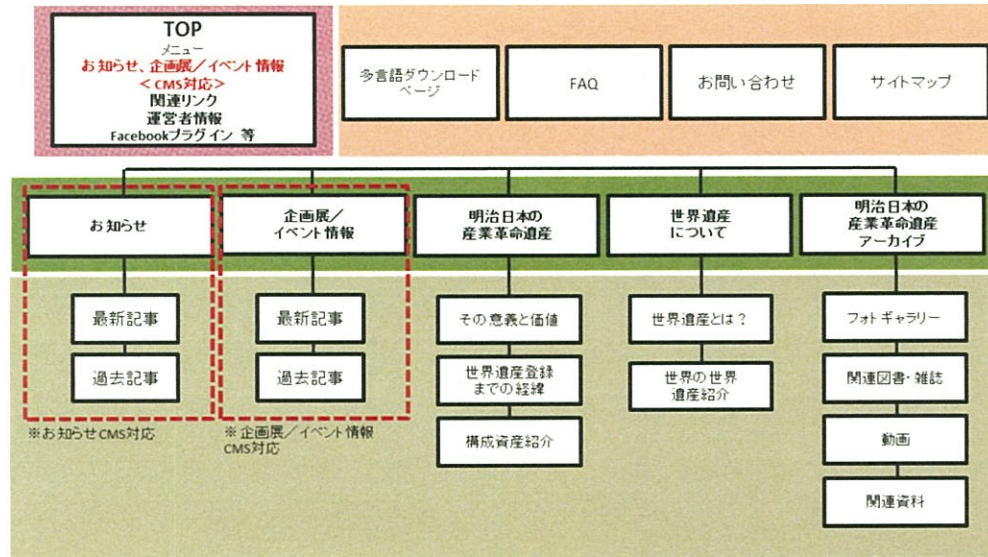
ENT



ENT



# パターンD (Webでの展開)



## サイトマップイメージ



## 画面イメージ